

日本建築学会 比較居住文化小委員会 拡大委員会

セッティング される現代の フィールド

稲垣淳哉 / 篠原聡子 / 金野千恵

11 / 28 (土) SHARE yaraicho

第一線の建築家でありながらフィールドワーカーでもある3者を招き、サーベイとデザインの関係を中心にレクチャーしていただきます。その後、本小委員会の委員(みなベテランのフィールドワーカーです)も交えて、現地観察と建築設計の架橋によって何が可能になるか、ディスカッションします。フィールドワークから計画・設計・運営に至るどのような具体的プロセスがあり得るか、現代の新しい社会関係を生み出す場(フィールド)をどのようにセッティングすればよいか、観察と実践の繰り返しの先にどのような未来があるか、議論を試みます。

2015年11月28日(土) 15:00~18:00(予定) 司会:清水郁郎(芝浦工業大学) 記録:濱定史(東京理科大学)

15:00~15:10 趣旨説明:稲垣淳哉(早稲田大学, Eureka)

15:10~15:40 主題解説①:「フィールドワークから集合居住計画へ」 稲垣淳哉(前掲)

15:40~16:10 主題解説②:「集住のCOMMONSPACEデザイン - 自生的空間から学ぶ -」 篠原聡子(日本女子大学, 空間研究所)

16:10~16:40 主題解説③:「ロジアの暇空間とこれからのまち」 金野千恵(日本工業大学, teco)

16:40~16:50 休憩

16:50~17:50 討論:パネリスト 主題解説演者3名 + 委員

17:50~18:00 まとめ:本間健太郎(東京大学)

会場: SHARE yaraicho 東京都新宿区矢来町29



氏名・所属・連絡先を11/23(月)までに濱(hamasada@rs.kagu.tus.ac.jp)にお知らせください